

日医発第 640 号（法安 95）

平成 27 年 10 月 6 日

都道府県医師会長 殿

日 本 医 師 会

会長 横倉 義武

医薬品医療機器総合機構「医薬品安全性情報の入手・伝達・
活用状況等に関する調査」について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

近年、医療技術の高度化・専門化に伴い、薬物療法の選択肢が増え、その重要性が増した一方で、医薬品に関わるリスク及び適正で安全に使用する上での医薬品情報の利活用の必要性はさらに高まっています。

医薬品医療機器総合機構（PMDA）では、医療機関等における医薬品等の安全性情報の入手・伝達・活用状況等を把握するとともに、適切な情報入手・伝達・活用方策のあり方を検討することを目的として、これまで病院を対象に標記調査を行ってきました。

今般、PMDA では新たに全国の診療所のうち約 1 割を対象に標記調査を実施することとし、本会に対し調査協力依頼がありました。

本調査の結果は、医薬品等の安全性情報が、より臨床現場で利用しやすいものとなるよう、その最適な情報のあり方や提供方法を検討するための基礎資料となります。

つきましては、貴会会員から本調査について問い合わせ等があった場合には積極的な回答を推奨して頂きますようご協力をお願いいたします。

なお、本調査の調査票は別添のデザインの封筒により送付されます。

記

「医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査」概要ページ

URL： <http://www.pmda.go.jp/safety/surveillance-analysis/0010.html#h27>

以上

薬機発 0904027 号
平成 27 年 9 月 4 日

公益社団法人 日本医師会
会長 横倉 義武 殿

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
理事長 近藤 達也



「医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査」
の周知及び回答依頼に係るご協力をお願い

平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）では、第三期中期計画に基づき、医療機関等における医薬品等の安全性情報の入手・伝達・活用状況等を把握するとともに、適切な情報入手・伝達・活用方策のあり方を検討することを目的とした調査を実施しています。

このたび、一般診療所に対し、「医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査」を実施することとしました。

本調査の結果については、医薬品等の安全性情報が、より臨床現場で利用しやすいものとなるよう、その最適な情報のあり方や提供方法の検討材料とするとともに、臨床現場における適切な医薬品等の安全性情報の入手・伝達・活用方策等のあるべき姿を提言し、医薬品等の安全使用の推進に活用します。

つきましては、貴会会員の皆様に本調査にご協力いただきたく、本調査の周知及び回答依頼にご協力方お願いします。

なお、過去の調査結果は、PMDA のホームページ (<http://www.pmda.go.jp/safety/surveillance-analysis/0010.html>) に掲載していますので、ご覧いただきますと幸いです。

料金別納
郵便

「診療所における医薬品安全性情報の
入手・伝達・活用状況等調査」

調査票 在中

※この調査は、厚生労働省、日本医師会のご協力のもと医薬品医療機器総合機構(PMDA)が実施しているものです。



独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第一部

〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

【お問い合わせ：PMDA 医薬品安全性情報調査事務局】

電話 0120-966-025 (平日：10時～17時)